

日程第1. 会派代表質問

○議長（小川 廣康君） 日程第1、会派代表質問を行います。

この際、申し上げます。発言時間については、申し合わせにより、時間内に終わるように御協力をお願いいたします。

また、関連質問につきましては、通告者と同会派の議員とし、本質問の内容と関係のあるもので、本質問者の持ち時間内としておりますので、そのように御了承願います。本日の登壇は2会派を予定しております。

それでは、通告に従い順次発言を許します。新政会、17番、作元義文君。

○議員（17番 作元 義文君） 皆さん、おはようございます。新政会の作元でございます。

きょうは山本会長が登壇して質問をする予定でございましたけれども、急遽、登壇ができませんので、お許しをいただきまして、会派の代表質問をさせていただきます。

さきに質問の要旨につきましては、会長のほうから提出をされていると思います。大方、その内容によって市長にお伺いをしていきたいというふうに思っております。少し質問の内容が、中身がずれるかもわかりませんが、よろしくお願いをします。

まず、大きな質問事項でございますけれども、比田勝市政におけるこれまでの統括と今後の取り組みについてということでございます。

比田勝市政も、やがて3年を終えようとしております。前市長からの継続事業、あるいは新規事業など数々の実績と経過が考えられると思いますけれども、有人国境離島法の制定や朝鮮通信使のユネスコ遺産登録、比田勝のジェットホイルの混乗問題、あるいは地域商社の建設、また博物館の建設、厳原港の再編計画など、かなりの成果が認められるというふうに思っております。

その中で対馬市の総合計画に基づいて、要旨が出されております、ひと・しごと創生総合戦略の成果と今後の取り組みについて、それから対馬ならではの雇用・なりわいについて、島の魅力を生かした交流・移住・定住を促すことについての成果はいかがでしょうか、お尋ねをいたします。

また、安心して結婚・出産・子育てができる環境をつくることについて、そして高齢者などが健康で生きがいを感じられる環境をつくることについて、市長の考えをお伺いをいたしたいと思っております。

いづらはら病院の包括ケアの在宅医療の件も少し言われておりますけれども、あればそれも少しお答えをいただきたい。関連質問でするかもわかりませんが、よろしくお願いをしたいと思います。

また、県や国に議長、市長で要望されております、いろんな要望事項があろうかと思っております。この点につきましても、議会のほうには報告書が出されておりますけれども、市民についてはよ

くわかれていないという部分があるかと思しますので、できればその辺までお答えをいただければというふうに思っております。

新時代に、平成もう終わりですけれども、新しい時代に向けての市長の考え方についても、よろしく願いをいたします。どうぞよろしく申し上げます。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） おはようございます。新政会、作元議員の御質問にお答えいたします。

対馬市まち・ひと・しごと総合戦略についてでございますけれども、御承知のとおり、急速な人口減少と少子高齢化という大きな課題に対し、本市の特性、持ち味を生かした人口減少対策のための指針として、各分野の皆様や市議会からも各常任委員長に御参画いただき、平成27年度から平成31年度までの5カ年計画として、平成27年度に策定しているものであります。

その中で4つの重点戦略でございますけれども、まず重点戦略の1点目といたしまして、対馬ならではの雇用・なりわいをつくるでございます。

2点目といたしまして、島の魅力を生かした交流・移住・定住を促す。

3点目が、安心して結婚・出産・子育てができる環境をつくるでございます。

4点目が、高齢者等が健康で生きがいを感じられる環境をつくるというふうに決めております。

以上、4つの重点戦略で構成されておりますけれども、この重点戦略ごとに複数の主要施策を設けるとともに、主要施策ごとに目標項目、数値を設定し、毎年、対馬市総合戦略推進会議におきまして、事業実績の内容確認を初め、目標項目の達成状況、改善点などの意見聴取、検証を行った上で、市議会に対しましても検証結果の説明及び各事業に対する御意見をいただき、国へ報告しているところでございます。

まず、この中の1点目の重点戦略についてでございますけれども、対馬ならではの雇用・なりわいをつくるにおきましては、創業支援事業、農林水産業担い手事業、企業誘致事業等の各種施策実施によりまして、新規雇用者数は平成27年度末18名、平成28年度末53名、29年度末で115名となっております。

特定有人国境離島法による雇用機会拡充支援事業や離島漁村支援交付金事業を加えますと、平成29年度末で203名、平成30年度末まで計画どおりに推移いたしますと、累計では269名となり、平成31年度末の目標人数100名を大きく上回る結果となっております。

次に、重点戦略2の島の魅力を生かした交流・移住・定住を促すでございますけれども、移住・定住推進事業補助金の新設を初め、小中学生への離島留学制度の取り組み、域学連携地域づくり推進事業の強化等を行った結果、移住者数が平成29年度で56名、平成30年度も4月から11月までの9カ月間で既に72名となっております、一定の成果は上がっているものと考えております。

次に、重点戦略3の安心して結婚・出産・子育てができる環境をつくるにおきましても、保育所及び幼稚園料金低廉化事業により、平成29年度の出生数は目標の250名には届かなかったものの、230名となり、出会いの場の創出に係る縁結び支援事業等の実施により、婚姻組数も5年間目標数5組に対して8組となっております。

最後に、重点戦略4の高齢者等が健康で生きがいを感じられる環境をつくるにおきましては、上県地域における地域主体のコミュニティバスの運行や佐須奈での寄っていかんねの展開、地域包括ケアシステムに関する各種事業の取り組みにより、認知症サポーター養成講座受講者数は、目標の200名を大きく上回る732名、コミュニティナースにつきましても、平成30年度より1名を配置できたところでございます。

また、シルバー人材センターの拡充につきましても、全島組織化に向け、現在取り組みを継続しているところでございます。

以上、各種取り組みを実施した結果、社会増減の状況は、平成28年度の416名の減から、平成29年は210名の減と、その効果は206名となっております。本年9月末までは、平成29年9月末との比較で170名の伸びというふうに、顕著な改善状況となっており、対馬市まち・ひと・しごと創生総合戦略とあわせ、有人国境離島法の施行による雇用拡充策や移住・定住制度の導入による集中的な施策の実施により、一定の成果は上がったものと考えております。

今後の取り組みでございますけれども、本総合戦略は平成31年度で終了することから、これまで5年間の最終的な検証を行い、目標を達成した項目、達成できなかった項目等を明確化した上で、さらなる人口減少を抑制するため、第2次総合戦略の策定を次年度行うこととしております。

その中でも、島内における福祉、農林水産業、建設業等、人材不足を中心とした担い手確保対策や島内3高校への進学を促進するための施策、高校、大学、専門学校等卒業生の地元就職を促進するための施策、結婚・出産・子育てがしやすい環境整備、元気な高齢者が活躍できる場の創出など、第1次総合戦略での達成が厳しい分野を中心に、新規施策も含め取り組みを進めてまいりたいと考えております。

次に、県知事要望、そして国への要望の件ということでございますけれども、11月6日に議長、副議長にも同行をしていただいて、中村知事に対し、7項目からなる要望書を提出いたしました。

中でも道路整備の促進、観光客受け入れのための基盤整備とあわせ、対馬空港施設の整備については、詳細に説明し要望をしまりました。今後も道路、観光基盤の整備、対馬空港の整備については、長崎県初め関係機関、国会議員等に対して要望活動を強化したいと考えております。

あわせて特定有人国境離島法における島民の運賃は低減化ができませんでした。さらなる交流人口の拡大のためには、島外からのお客様に対する低減化をお願いすべきと考えております。今後も議会のお力をおかりしなければなりません。どうぞよろしく願いいたします。

最後に、11月28日に有人国境離島法の成果のお礼と、また31年度の予算づけ確保のために、菅官房長官のもとに参りました。衆議院議員の谷川代議士御同行のもとで参りましたが、その中で約50億の国費のうちの6割が長崎県に充当されたところではございますけども、この予算のおかげで長崎県の離島といたしましても、毎年1,000人近くの社会減が600人近くにおさまったということで、この予算でこれだけの成果が出れば、かなりのいい成果が出たのではないかというようなお言葉もいただいてまいりましたので、今後とも有人国境離島法の関係につきましても、各離島の皆様と協力しながら、一生懸命、喫緊の課題であります人口減少の減に努めてまいりたいと思っております。

以上でございます。

○議長（小川 廣康君） 17番、作元義文君。

○議員（17番 作元 義文君） ただいま総合戦略の成果について、市長からお答えをいただきましたが、かなりの成果が出ているのではないかなというふうに思います。

そういった中で、雇用の件について、農林水産業、あるいはその他建設業あると思いますけれども、部門別にわかれば教えていただきたいんですけど、後で関連質問で、また水産業の件につきましては、坂本議員がしますけれども、非常に厳しい水産業の現状の中で、雇用はどれくらい生まれたのかなど。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 部門別は、私のほうは把握しておりませんので、担当部長に答えさせていただきます。

○議長（小川 廣康君） しまづくり推進部長、阿比留勝也君。

○しまづくり推進部長（阿比留勝也君） 部門別でございますが、農業が今のところ1人ということで、あと水産業3名、建設業が1名、商工業が9名と。その他、これ74名になっておりますが、これにつきましては親の介護とか、そういったもので74名がカウントされております。

○議長（小川 廣康君） 17番、作元義文君。

○議員（17番 作元 義文君） ありがとうございます。31年までという総合戦略の計画ですけども、市長も31年度まででございますけれども、これからこの部分について、どの部分についてでもいいですけども、肉づけをしていきたいな、これは伸ばしていきたいな、もっとやりたいなというような戦略があれば、将来の考え方について伺いたいと思いますが、いかがでしょうか。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） まず、この大きな項目の中で、私のこれまでの政策における、政策の結果ということからいたしまして、私自身も第1番に、人口減少対策が喫緊の課題と捉えて、いろ

んな施策をしてまいりました。

この中で、先ほども申し上げましたように、平成28年度が416名の減であったものが、平成29年度は210名の減ということで、今現在206名の効果が出たということで、さらに30年度は29年度と比較しましても、現在でも約170名の減ということで、かなりの効果が出ているということで、今後有人国境離島法、そして観光客の誘致による活性化対策を中心にしてい進めてまいりたいというふうに考えております。

そして、また産業の拡充につきましては、なかなか厳しい面もございますけれども、対馬の農産・水産品、ここをできるだけ島外で高く売れるようなシステムを構築したいということで、今現在、対馬市の地域商社も準備をしているところでございますので、こちら辺もあわせて進めてまいりたいというふうに考えております。

○議長（小川 廣康君） 17番、作元義文君。

○議員（17番 作元 義文君） ありがとうございます。人口減少対策という部分が非常に今からも大事になってきやせんかなというふうに思っているんですけども、さっき市長が話をされました、菅官房長官の面会の際に50億のお話が出ました。このときに今運賃の割引が島民だけというふうなことでございまして、観光客を伸ばすためには、どうしても日本国内の人たちに離島に訪れていただくかなければならないということと、対馬から出た人、墓参であるとか、親に会いに来たいとかいうようなときに、非常に旅費が高いというのが一番ネックになっていると僕は思っていますので、こういった話はそのときには出ませんでしたか。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 今現在、旅行クーポンみたいな形で、そこまでは対象にはできるということでございまして、ただ今現在、対馬に、そしてまたほかの離島に里帰りされる方については、まだその対象とはなっておりませんので、今後力強く進めてまいりたいということで、他の離島の首長、そしてまた先生のほうもそういう旨を申し上げられたということで、報告したいと思えます。

○議長（小川 廣康君） 17番、作元義文君。

○議員（17番 作元 義文君） ぜひこの件については、ほかの離島とも十分協議をしながら進めていただきたいというふうに思います。有人国境離島法の予算も内閣府の予算でございますから、菅官房長官がこれには大きくかかわっておられますので、谷川代議士も使って、使ってちゅうたらおかしいですけども、お願いをしながら、ぜひ近い将来にそういった対馬を訪れてくる人、そして墓参に来る人、親に会いに来る人、こういったところまで、5割までいかにしても、3割、4割ぐらいの補助ができるような運動を展開をしていただきたいと。議会もその件につきましましては、一生懸命協力しながら頑張っていかなければならないのかなというふうに思っており

ますから、ぜひこれは力強く進めていただきたいというふうに思います。

それから、市長の公約の中にもあります、観光客を呼ぶためにトレッキングコースとか、あるいはサイクリングロードとか、こういったのが上がってきておりましたけれども、その辺の手がけはどういうふうになっておりますか、あればお聞きしたいです。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 今現在、国内からの観光客、そしてまた韓国からの観光客が大勢対馬に訪れていただいているところでございますけれども、こういう方たちのためにも、まず対馬の大自然を満喫するトレッキングコースを整備したいということで、かねがね申し上げておりました。

今現在、トレッキングコースにつきましては、上のほうからいきますと、まず権現山、そして御嶽、白嶽ルート、それから城山ルート、有明、清水山、そして豊玉の烏帽子、そういったところを今後進めていきたいということで、これを確実に進めていながら、そして、それぞれの案内標識等も今現在、整備を進めているところであります。

そして、点と点を将来的にはつなげた縦走コースをつくっていききたいということで、今現在進めているところであります。

次に、サイクリング関係でございますけれども、議員の皆様、既に御承知のように、今年度も第2回目の国境サイクリング大会を実施したところであります。今年度は59名のエントリーでございましたけれども、周知の、告知の関係が少しおくれたんじゃないかなということで、反省も踏まえながら、今後はまだまだ告知等をしっかりしながら進めていきたいというふうに思っております。

今年度サイクリングに来ていただいたお客様からの感想をお聞きしますと、ちょうど韓国がきれいに見えたこともありまして、そしてまた対馬の特産品、アナゴやかすまき、そば、こういったところを堪能ができたということで、大変好評でございました。

そういうことで、今後もこのサイクリングにつきましても、対馬の全島を代表するイベントとして育ててまいりたいというふうに考えているところでありますので、どうぞ今後ともよろしくお願いをいたしたいというふうに思っております。

○議長（小川 廣康君） 17番、作元義文君。

○議員（17番 作元 義文君） ぜひ今後、将来の戦略に向けて、足場をつくっていただいて先に進んでいくように、しっかり頑張っていただきたいと思います。

そばの件とか水産の関係につきましては、関連質問で2人、行いますけれども、非常に対州そばも今度指定を受けまして、全国的に、すばらしいなと思っておりますから、関連質問でいたしますので、よろしくお願いをいたしたいと思います。

それでは、私はこれで終わります。あとは初村議員と坂本議員にバトンタッチしたいと思いま

す。しっかり頑張ってください。ありがとうございました。

○議長（小川 廣康君） 関連質問に入ります。新政会、14番、初村久藏君。

○議員（14番 初村 久藏君） 皆さん、おはようございます。会派、新政会の初村久藏でございます。ただいま会派代表質問で作元議員のほうから、比田勝市政について、これまでの総括と今後の取り組みについて数点質問をされました。

関連質問で私は、第1次産業の農林業振興について3点通告をしておりますので、通告に従いまして質問をいたしますので、市長のお考え、御見解をお伺いをいたします。

1点目の耕作放棄地の解消についてでございます。

対馬市の耕地面積は約921ヘクタール、内訳は水田が579ヘクタール、畑が342ヘクタールとなっております。これは平成27年の県の資料となっておりますので、現在の時点でどの程度耕作されているのか。

また、耕作放棄地がふえる要因は、農業者の高齢化、後継者・担い手不足であろうかと考えます。今後、このまま放置しておけば、今後5年、10年後には対馬市の農業は危機的状況になるんじゃないかと思われまます。今後の対馬の農業、将来、振興、耕作放棄地の解消について市長のお考えをお伺いいたします。

2点目の対州そばの振興について。

対州そばが地理的表示保護制度に登録され、県内初で、全国61番目と聞いております。今、全国的にも注目されていると思われまます。このような機会に対州そばの振興、消費拡大に向け、観光客誘致にPRできないか。

現在、対馬市の指定管理者として、上県町そば道場、美津島町のふるさと伝承館、佐須地区の匠と、主にそばを販売、食するところは大きいところで3カ所でございます。今後、対州そばの作付、消費拡大に向けて、市長のお考えをお伺いいたします。

3点目のしいたけ生産の拡充についてお伺いいたします。

対馬しいたけ振興については、平成18年度から対馬しいたけ復活プランが計画され、20年度まで大型団地7カ所、うち新規参入4団地、規模拡大3団地で出発をしております。

それから現在まで、年次対馬しいたけの復活振興には計画をされ、市としては生産者の育成、担い手の育成事業等、新規参入に努力されていると思われまます、農林業の高齢化、若者の新規参入は厳しい状況と思われまます。対馬しいたけ再生と今後の対馬市としての取り組み計画等についてお伺いをいたします。

あとは一問一答で再質問をいたします。どうぞよろしくお願ひいたします。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 新政会、初村議員の御質問にお答えいたします。